

食の大切さ、小さいころから

食育ボランティア あさひ地産地消推進協議会

子どもたちに農作物の生育や自分で料理をする楽しさ、喜びを知ってもらおうと、3月18日、萬歳地区多目的研修センターで食育体験学習が行われました。この催しに参加したのは、日の出保育所と海上保育所の園児40人。市内のハウスで実際にズッキーニが栽培されているところを見学したあと、いよいよ自分たちで料理。キュウリを切ったり、ハンバーグをこねたり、おにぎりを握ったり。慣れない手つきながらも食育ボランティアの人たちに教えてもらいながら自分で上手にできました。はじめてハンバーグをこねた子どもたちは「つめたい」「ぐによぐによしてる」などちょっと消極的。キュウリを切るときには思ったより上手に切れて喜ぶ姿が見られました。自分たちで楽しく作った昼食は残さずきれいに食べました。



▲全員が順番にハンバーグをこねていきます



▲上手に星型キュウリを切る子と心配そうに前の子をのぞきこみながら順番待ちする子どもたち

大切な保安林を守るため

旭市保安林記念植樹会

3月11日、豊畑小の3、4年生88人が神宮寺浜保安林の植栽区域約800㎡にクロマツの植樹を行いました。

子どもたちは保安林の働きや大切さを職員から説明されたあと、用意された400本の苗木を一人4、5本づつ、丁寧に植えていきました。



▲協力しながら丁寧に苗木を植える子どもたち

旭の小学生女子2人 日本代表選手選考会へ

第17回東アジアグランプリホープス卓球選手権大会日本代表選手選考会・千葉県予選会が3月2日、県営体育館で開催されました。勝ち抜いた男女1人だけが全国大会のキップを手にするこの大会。熱戦の結果、スタークラブⅡの高上友里さん（中央小）が立ちのける強豪を退け見事優勝、5月に行われる本大会へのキップを手にししました。これにより先に全国ランキング上位のため出場が決定している芝田沙季さん（共和小）とともに旭市から2人の選手が、小学生卓球の最高峰「東アジアグランプリ」を目指し、日本代表選手選考会に出場します。



▲芝田沙季さん 高上友里さん

大会2連覇などF Cあさひが活躍

2月17日、東金市大同グラウンドを中心に第26回東金フットサル大会が開催されました。山武郡市周辺の30のクラブから各学年別の部と女子の部計160チームが参加したこの大会。3年生のBグループに出場したF CあさひAが優勝を飾りました。また、3月2日には神栖市の矢田部サッカー場で行われた第22回銚子カップに出場し、予選、決勝トーナメントともに終始押し気味の展開から勝利を重ね、無失点のまま参加12チームの頂点に立ちました。F Cあさひはこの大会2連覇。今後も活躍が期待されます。



▲銚子カップ2連覇に沸く子どもたち



▲フットサル大会優勝に喜びポーズ

新しい校舎をお披露目

干潟小リニューアルセレモニー

干潟小の耐震改修工事の完了を記念して、2月23日、干潟小体育館でリニューアルセレモニーが行われ、たくさんの父兄や来賓が出席しました。祝辞では米本教育長が「たくさんの人の協力で立派な建物になりました。皆さんも『拓き 輝き 高め合う 干潟っ子』この学校目標に近づくようがんばってください。」とあいさつ。「できますか？」の問いかけに「はい！」という子どもたちの大きな声が体育館に響き渡りました。

その後、6年生による総合学習の取り組み発表や干潟小金管バンドの演奏、また、成田国際高校吹奏学部も特別招待され、さまざまなパフォーマンスに、会場も大いに沸きました。式典のあと校庭では6年生によるバザーが行われ、地元の特産品などが格安で販売されました。



▲式典で祝辞を述べる教育長



▲地元農産物を元気に販売する子どもたち



▲金管バンドの演奏

都会のど真ん中、旭の農産物をPR

第20回青空市場に出店



▲旭の農産物を買求める都会の消費者たち

市は3月9日、地元農産物を都会の消費者に広くPRするため、東京国際フォーラムで開催された青空市場に出店しました。この市場は、都会の消費者と生産者側の顔を互いに見ながら、直接売り買いができるとあって食の安全に関心の高い人たちなど、大勢の客でにぎわいました。今回は採れたてのキュウリやトマト、米やその他新鮮野菜の販売のほか、ご飯にヤマトイモをかけて試食してもらうなど、種類豊富な市の農産物をPRしました。

消防団へ新車両を配備

海上方面隊1-2 2-1 2-3 飯岡方面隊2-3 4-3

1月5日と2月23日の両日、消防本部において、消防団消防車両引渡式が行われました。引渡式が終了すると、早速、近くの貯水池で水出し点検を行い、真新しい車両と最新の設備に、操作する団員の士気も高まった様子でした。19年度に更新された消防団車両は水槽付消防ポンプ自動車1台、小型ポンプ積載車が4台。消防防災力の強化が図られました。



▲海上方面隊2-1に配備された水槽付消防ポンプ自動車



▲新しいポンプの操作方法を確認する団員

社内自主防衛隊も活躍

旭市総合消防訓練



▲建物からの救助救出訓練

3月2日、干潟工業団地内の朋和産業を会場に、社員と消防団、消防本部計260人が参加して総合消防訓練が行われました。

震度6強の地震発生後、火災が発生したという想定で行われたこの訓練では、従業員の避難訓練や社内に組織される自主防衛隊による放水訓練、消火器による初期消火訓練のほか消防署員による建物からの救助救出訓練など、従業員と消防隊がいざという時の対応を確認しながら協力して訓練を行っていました。



▲社員による初期消火訓練

健康で住みよい地域社会づくりに向け 知事と意見交換

健康づくり・医療・福祉分野が連動して誰もが生き生きと暮らせる地域社会の実現に向け、千葉県が見直しを進めている計画により多くの意見を反映させようと、3月1日に旭中央病院体育館でタウンミーティングが開かれました。会社や市民団体が取り組んでいる健康づくりや福祉活動の発表や堂本暁子千葉県知事ら4人によるパネルディスカッションが行われ、その後の意見交換では、集まった大勢の方から意見や要望の発言がありました。



▲知事を交えてパネルディスカッション

幅広い年齢層で熱戦を展開

旭オープンテニス大会

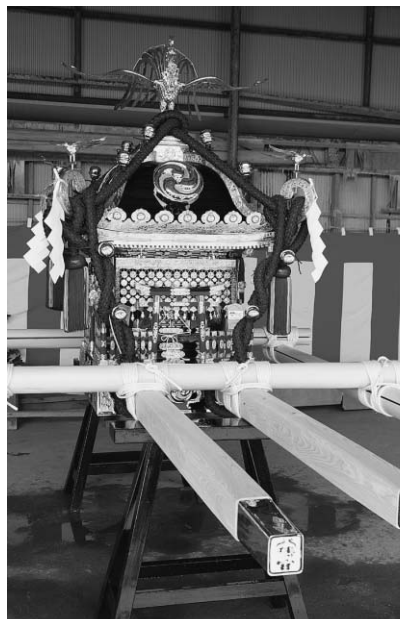
市内外から男女30チームが参加して、旭オープンテニス大会が3月2日、旭スポーツの森公園テニスコートで行われました。高校生から60歳を超える方までが、年齢差を感じさせないプレーを披露。熱戦の結果は次のとおりです。(敬称略)

〔男子の部〕 優勝／田村・糸井ペア (写真後列右)
準優勝／関本・蓮沼ペア
〔女子の部〕 優勝／吉田・浅井ペア (写真前列左)
準優勝／石橋・斉藤ペア



宝くじ助成でみこしを修復

平松岡区



▲輝きを取り戻したみこし

年間を通じて鳴り物等の郷土芸能の継承に取り組んでいる平松岡区で、財団法人自治総合センターの宝くじ助成を受けて、みこしの修復を行いました。新しくなったみこしは3月8日の午後から区内を練り歩き、その姿を披露しました。今後も、さらに地区住民の親睦交流が図られることが期待されます。

人気スポットで季節の景色を楽しむ

夕陽・夜景鑑賞会

空気の澄む冬は遠く富士山を望めるなど、1年を通してさまざまな景色を楽しめる場所として人気の上永井展望館～光と風～で、2月23日に夕陽・夜景鑑賞会が開かれました。この時期の楽しみは、茜色の空に浮かぶ漆黒の富士山のシルエット。この日は残念ながらその景色を見ることはできませんでしたが、集まったたくさんの方は、展示された夕陽の写真や夜景を楽しんでいました。



▲カメラを手に夕陽を鑑賞

熊野神社で神楽を奉納



▲伝統衣装を身に着けて舞を披露

豊年万作と家内安全を祈願して、3月20日に熊野神社で神楽が奉納されました。周辺では最も古い歴史があるといわれており、神楽殿では13の演目に加え稚児舞も披露。訪れた人たちは、次々に繰り広げられる舞に見入っていました。

満員の観客が鑑賞

上映会「天保水滸伝 大原幽学」

世界初の農業協同組合「先祖株組合」を組織するなど、地元旭市で先進的な農業手法で農民を指導した大原幽学をテーマにした映画「天保水滸伝 大原幽学」の上映会が、3月9日、東総文化会館で開かれました。当日は、上映前に映画に係わった人たちへのインタビューや幽学考案の「性学もち」の試食なども行われました。上映会にはホールが満員になるほどの観客が訪れ、幽学への関心の高さがうかがわれました。



▲撮影時の思い出話を話してくれました



▲うるち米で作った「性学もち」を来場者に配布

旭市の農業を担う新しい力

「羽ばたくルーキー農業者激励会」

市内で新しく農業を始めた新規就農者を励ます「羽ばたくルーキー農業者激励会」が、3月17日に開催されました。新たに農業に従事する方は19人で、激励会には5人が出席し、JAちばみどりや農業関係機関を訪問。市役所では伊藤市長や農業委員会の会長から激励の言葉が贈られました。また、研修の一環として、市内の洋ラン園で先輩農業者のお話を聞きました。



▲市役所で市長と意見交換する新規就農者の皆さん

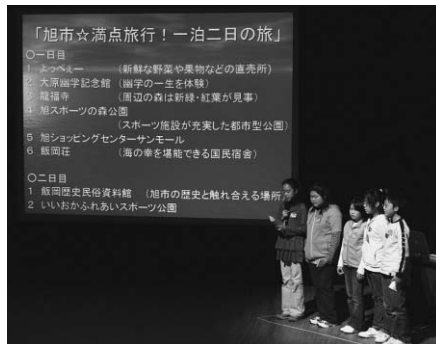
学習活動の成果を発表

「旭3S活動報告会」

市内の小中高校生が、社会への貢献を目的とした学習活動を行う際に必要となる資金を助成し、積極的に活動を行うことができるよう、子どもたちを支援する仕組みが「旭3S」です。今年度、助成金を活用して学習した4つの学校の子どもたちが、その学習の成果を発表する「旭3S活動報告会」が3月8日、東総文化会館で開かれました。

<発表内容>

- 富浦小学校6年生「ふれあいボランティア」
- 旭市内5中学校合同文化祭実行委員会「合同文化祭を成功させよう」
- 干潟小学校6年生「干潟小、史上最強の畑作り」
- 東総工業高等学校「干潟駅前清掃 & 干潟駅での挨拶運動」



▲発表する干潟小6年生

ポスターで火災予防を呼びかけ

防火ポスター入賞者表彰式

市民に火災への注意を呼びかけようと募集が行われた防火ポスターの最優秀作品入賞者の表彰式が、3月11日に市役所で行われました。最優秀賞には、小学生2人・中学生2人の計4人が選ばれ、どの作品も火事の恐ろしさや防火対策の大切さをわかりやすく訴える内容となっています。



▲左から菅谷由夏（干潟小4年）、飯島由佳（中央小5年）、加瀬美咲（飯岡中1年）、米本早紀（二中2年） ※敬称略

旭市エンジョイパトロール隊

「防犯講演会」を開催

「自分たちのまちは、自分たちで守ろう」をスローガンに、散歩やジョギングなどにあわせて、子どもたちの安全確保と地域の防犯活動を行う旭市エンジョイパトロール隊。日ごろの活動報告と防犯に対する意識を高めようと、2月20日に市民会館で「防犯講演会」を開催しました。講演では旭警察署生活安全課長を講師に迎え、市内の犯罪の状況と防犯対策についてお話を聞きました。



▲大勢の参加者が講演に耳を傾けました